



ふたかみ NEWS

プチトマト

社会福祉法人 ふたかみ福祉会

583-0856

大阪府羽曳野市白鳥3丁目16-3-102

発行責任者：寺村美知子

編集責任者：関口奈緒美

TEL 072-959-3221

FAX 072-957-1604

Email futakami@hi-ho.ne.jp

<http://www.futakamifukushi.sakura.ne.jp/>

春バザーが 開催されました！



4月21日に、ふたかみ福祉会後援会主催の、春のビッグバザーが開催されました。例年は、翠鳥園で行っていましたが、今回初めてLIC はびきのの1F アナトリウム広場にて行いました。

当初は、例年と違う場所という事もあり、正直不安やどのように行うか試行錯誤しましたが、当日は、晴天にも恵まれ、家族会の皆様のご尽力に相まって、大盛況となりました。収益はふたかみ福祉会に寄付し、障害福祉事業に使わせていただきます。

最後になりましたが、バザー開催に際して物品を提供して下さいました皆様と、お買い上げ下さった皆様にお礼申し上げます。
(山下)

平成30年度 後援会総会のご案内

日時 2018年5月24日(木) 13:00~15:00

場所 大西記念センター 第3はばたきホーム 2F 多目的ホール

内容 第1部 後援会総会

第2部 特別講演

テーマ「健康法と近年の動向について」

講師:ぶどうの家診療所所長 大畑和弘氏

◆憲法記念日特集

日本国憲法は「私たちの生活全体について書いている」

○「個人主義」は「自分勝手」「ワガママ」!?

憲法第13条は、「すべて国民は、個人として尊重される。」と書いており、「組織の中のひとり」ではなく、「個人として尊重される」ところから「自分のことは自分で決める(他人にきめられない)」という自己決定の原則です。最近、障害のある人の支援で、「自分のことは自分で決める」ことの大切さを強く感じました。失敗しても次に一緒に良い方向を考えることが大切であると思います。

日本国憲法は「国の最高法規」

と第98条に明記されています。

国会、内閣、裁判所という国の「三権」も憲法の下にあることを意味し、「立憲主義」と言います。国の「権力を制限することにより(国民に)自由を保障することとを理念とする憲法」と定義されており、よって「憲法は国家をしばるもの」であって、「憲法は国民を縛るもの」ではないのです。

○憲法改正の動き

森友「公文書改ざん」、防衛相「文書の隠ぺい」、加計「首相案件」とこれが立憲主義に基づいている政治なのか疑問です。そんな中、現政権は改憲の動きを進めており、衆議院では改憲に意欲的な議員が3分の2を超えているのです。

今こそ、「私たちの生活全体について書いている」日本国憲法を知り、暮らしに活かしていきたいでしょう。まずは、3000万署名を一緒に。

(常務理事 石本悦二)

◆2018年 抱負

○はびきの園

2018年度より、就労移行支援事業「はびサポート」がはびきの園内に移転しました。

法人の理念を基に、障害があるなかま達の「人間としてその人らしく生きていくこと」を保障し支援します。

作業や日中活動を通じて職員との関係を基盤にし、そこから人間関係を広げることが大切になります。また、重度のなかまは、家族や医療と連携しながら、「安心・安全・安楽」を目標に取り組みます。

これまで大切にしてきた「労働」の視点では、生活介護事業「職員と共に働き、社会での役割を実感すること」、就労継続支援B型事業「労働意欲の向上と高い給料を得ること」、就労移行支援事業「2年間の訓練を通して、社会へ出て働く意欲や技術を獲得できること」をそれぞれ大切にします。

また、「地域」の中でのつなが

りを大切にし、新たな作業開拓や取り組みの幅を広げることにも力を入れていきます。

(田邊朋)

○大西記念センター

共同生活援助 はばたき

はばたきではなかまの高齢化に伴って通院や日頃の生活の見直し等、健康についての支援がより重要になってきています。また、一人ひとりの希望に寄り添うことを大切に、なかまたちが元気に生き生きとした生活を送れるよう支援を行っていきます。

短期入所 ほまれの里

ショートステイの事業所は、地域の中で少ないにもかかわらず利用のニーズは依然高い状況です。ほまれの里は5名定員で限界はありますが、できるだけ地域の声に応えられるよう事業所の力を付けていく努力を今年度も続けて行きます。

(田邊佑)

○ハピバール

昨年4月に開所して2年目のハピバールの仲間たち、職員は、気持ちを新たに新年度をスタートしました。

作業は昨年から引き続きのジヤム用のくだものの皮むきやアトリエでの絵画、陶芸作業を行います。いいものを作ろう！」「たくさん買ってもらいたい！」「と更なる意欲を燃やしています。

カフェの仕事も昨年よりもつとめられるように頑張りを、売り上げアップを目指します。

カフェはメニューの充実やイベント開催など、よりお客様に喜んでいただけるようにしていきたいと思えます。

(楠尾)



○支援センターはる

支援センターはるは、昨年度同様の職員で生活・就業の相談に対応していきます。視覚・聴覚・肢体のピアカウンセラーも配置しています。

指定特定相談支援(生活担当)では、サービス等利用計画の基本報酬の減収を各種加算によって補足する等、これまで以上に厳しい財政状況になっていきます。書類の作成は必須ですが、個別のニーズに合わせたきめ細やかで制度の枠に縛られない相談支援を継続して行きたいと思えます。

就業では、障害者求人増加傾向にあり職種や待遇面でも選択の幅は広がっています。只、本人の求める職種や環境面での配慮と事業所側の希望する求人のマッチングは容易ではありません。今後も関係機関との連携と協力を得ながらご本人の希望する就業生活が実現できるように、丁寧に対応していきたいと思えます。

(渡辺)

○ほまれっこ

「ほまれっこ」は羽曳野市、藤井寺市などの支援学校や支援学級に通っている小学生から高校生までの子どもたちが、放課後や土曜日、長期休みなどに利用しています。散歩や公園遊び、室内でのおやつ作りや楽器遊びなどの活動を行ない、「ほまれっこ」を利用して「楽しかったな」「また来たいな」と思ってもらえるように日々の支援を重ねています。

放課後等デイサービスもたくさんできており、利用者も選べる時代です。しかし、子どもたちが豊かに成長し発達することを考えていくためには、「ほまれっこ」だけの視点ではなく、家族や学校、行政、そして他の事業所との連携やネットワーク作りが必要になると思われ、「ほまれっこ」からも発信していこうと思えます。

(泉谷)

◆法人研修

大阪障害者センターのメンタル

ヘルスサポーターであり、武庫川女子大学准教授である大岡由佳先生を講師に迎えて、「いきいきとした職場をつくるために」というテーマで研修を行いました。

「うつ病」とは、生涯に15人に一人は罹ると言われているメンタルな疾患。特に福祉職場、対人援助職は心身不調が多い。大変な状況↓頑張っても報われない↓使命感等が強い↓バーンアウトのリスクが高い。社会的情勢からは、自立支援法施行以後は現場への締め付けが厳しくなっている事も要因であろうとの事。また、バーンアウトには他責型があり、相模原事件の加害者が該当するのでは？との事。社会や労働環境が生み出した悲しい事件である事を思い知りました。

予防策としては、セルフマネジメントと並行して組織のマネジメントが不可欠。どの職員も孤立しない、働きやすく達成感のある職場環境が鍵であると認識を深めました。

(宮崎)

◆はびきの園 入所式

はびきの園では、毎年年度初めの日に新しく加わったなかまや職員をみんなに紹介する為に入所式を行っています。今年も新しいなかまを迎えての入所式をにぎやかに行うことができました。はびきの園を選んでもらい、はびきの園のなかまや関係者が増えていく事が本当に嬉しいことだと実感しています。それと同時に、私たちが期待に込められるようになかまの要求に寄り添い、少しでも生活が良くなるように頑張っていきたいです。

(関口耕)



◆新井さんの絵が 入選されました!

ハピバールの新井薫さんが、

第27回全日本アートサロン絵画大賞展の自由表現部門にて入選されました。大阪市立美術館にてその展示会が開催され、ハピバールのみんなで見に行きました。会場は多くの作品が展示してあり新井さんの作品を見つけるとみんな歓声を上げていました。日々一緒に働いている仲間らの作品がこのようなたくさんの人々の目に触れ評価されていることを知り「私も頑張ろう！」という声がかれました。これからもたくさん作品を作り、人々に感動を与えてもらいたいです。

(大西)



5月 自主製品販売

5日(土)紙カフェ	10時~16時
場所:堺市堺区山之口商店街	
13日(日)ふじいでら手づくり市	10時~15時
18日(金)葛井寺	10時~15時
25日(金)道明寺天満宮	10時~15時
26日(土)ハピバール1周年	10時~15時
28日(月)滝谷不動尊	9時~14時

【18年度4月】

後援会入会及び更新の方々

- | | | |
|-------|------|------|
| 奥長君子 | 山出高平 | 以上6口 |
| 宮本順市 | 丹羽久子 | 那須勝行 |
| 安井敏雄 | 平岡俊雄 | 赤井俊文 |
| 上戸将博 | 重信豊和 | 福井良蔵 |
| 佐野省三 | 井上忠志 | 上峠通男 |
| 塩野貴司 | 高橋伸之 | 山本和美 |
| 菊池敏美 | 松永匠 | 安藤勉 |
| 片田登志子 | 森信幸 | 下原保 |
| 西田佐知子 | 鎌田修 | 畑英作 |
| 井之内康史 | 佐藤泉 | 三宅渡 |
| 寺村美知子 | | 以上5口 |
| 細川直幸 | | 以上4口 |

(敬称略)

- | | | |
|------|------|-------|
| 清水一 | 以上3口 | |
| 古谷章 | 以上2口 | |
| 八木昭二 | 岡本雅宏 | 大西雅子 |
| 中筋義昭 | 西原俊子 | 土井寛子 |
| 戸田奈保 | 黒萩明 | 笹井喜世子 |
| | | 以上1口 |

【寄付金】

匿名様

春バザーの開場にて頂きました。

○17年度3月分として

- | | | |
|------|------|------|
| 田邊朋子 | 渡辺陽平 | 以上2口 |
| 原田文夫 | 原田悦子 | 末永義則 |
| | | 以上1口 |

【ボランティア】

- | | |
|------|---|
| であい | 様 |
| 畑英作 | 様 |
| 細川直幸 | 様 |
| 松倉和代 | 様 |

【アルミ缶回収】

940kg
ありがとうございました。

編集部の独り言

5月と言えば「こどもの日」。

「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」が趣旨だとか。なんだか難しい。こどもを大事にして母にも感謝、つてことなのかな。13日は「母の日」。母にもたっぷり感謝の気持ちを伝えよう。

(幸恵)